

経営比較分析表（令和6年度決算）

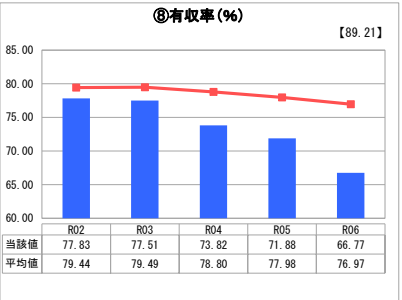
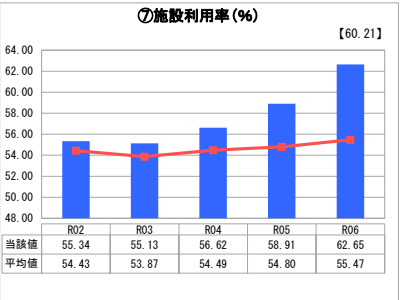
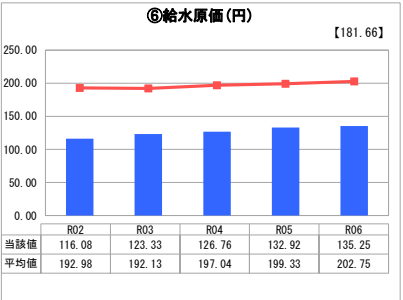
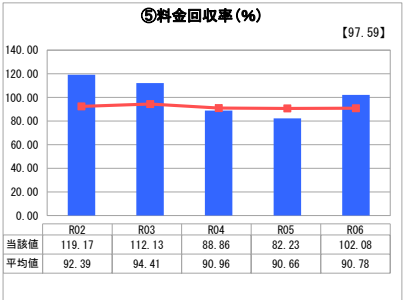
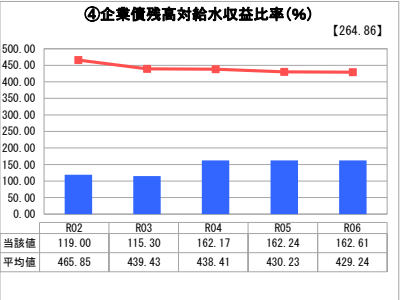
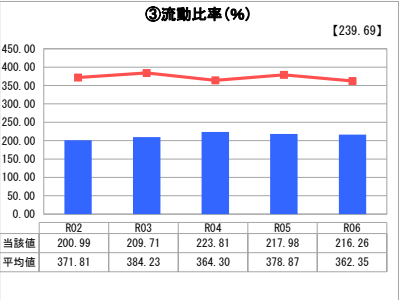
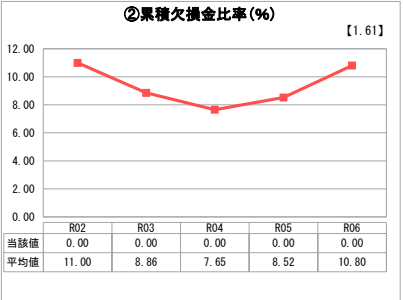
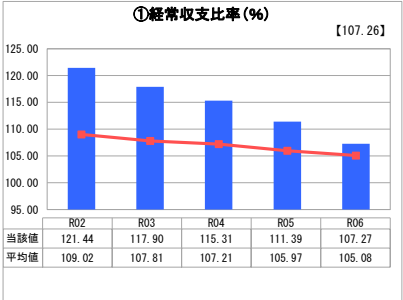
群馬県 機東村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡あたり家産料金(円)	
-	75.27	99.90	2,750	

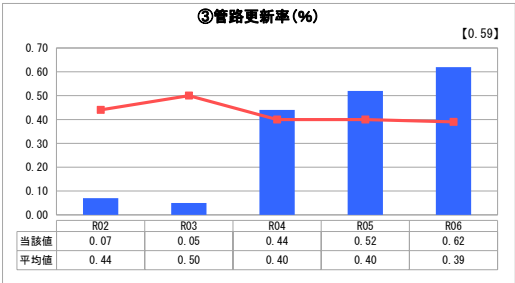
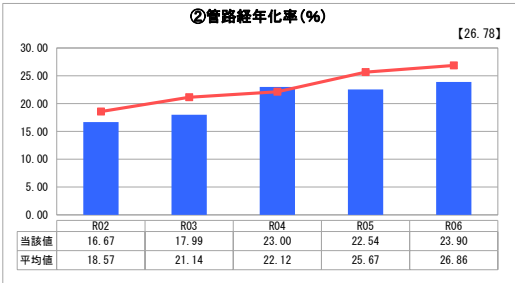
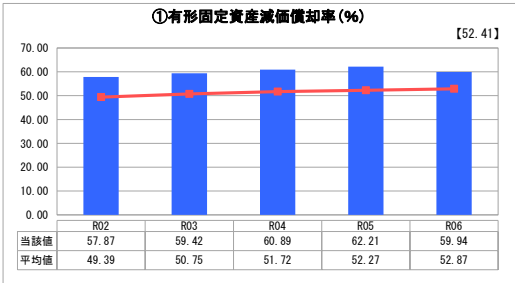
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,634	27.92	524.14
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,449	17.00	849.94

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%を上回っており、給水収益で維持管理費及び支払い利息を賄えている。

②流動比率
100%を上回っており、短期債務の支払能力に問題はない。

④企業債残高対給水収益比率
平均値を下回っているが、今後予定する大規模投資により比率の上昇が見込まれる。将来の償還負担を考慮し、適正な給水収益の確保による持続可能な経営体制の構築が課題である。

⑤料金回収率
令和6年度は地方創生臨時交付金を活用した水道料基本料金減免事業を実施しなかったため、前々、前年度の低下分から回復し、実施前の水準へ戻った。

⑥給水原価
平均を下回る水準で推移しており、効率的な施設運用および適切な維持管理が図られている。

⑦施設利用率
平均値を上回っており、適正規模の配水能力により適切な施設の利用に努めている。

⑧有収率
類似団体平均を下回り、経年的に低下傾向にある。今後も漏水調査の実施や計画的な老朽管の更新を行い、有収率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却費
平均値を上回っており、施設及び管路の老朽化が進んでいる。引き続き施設及び管路の更新に努めていく。

②管路経年化率
管路更新事業の着実な実施により、令和6年度も平均を下回る数値を確保した。今後もこの水準を維持し続けられるよう、計画的な更新を継続し、管路の健全化に努めたい。

③管路更新率（数値の訂正あり）
R02: 0.45、R3: 0.55
更新事業の拡大により、更新率は平均を大幅に上回る推移となった。今後も高い更新水準を維持し、着実な管路の更新に努めてきたい。

全体総括

効率的な施設運用により経常収支や給水原価は良好な水準にあるが、近年は有収率の低下が課題となっている。

現在、管路更新を加速させており、経年化率の抑制を図っている。今後は予定されている大規模投資による債務負担増を見据え、適正な料金収入の確保と徹底したコスト管理を両立させ、将来にわたって安全な水を安定的に供給できる経営体制を維持できるよう努める。